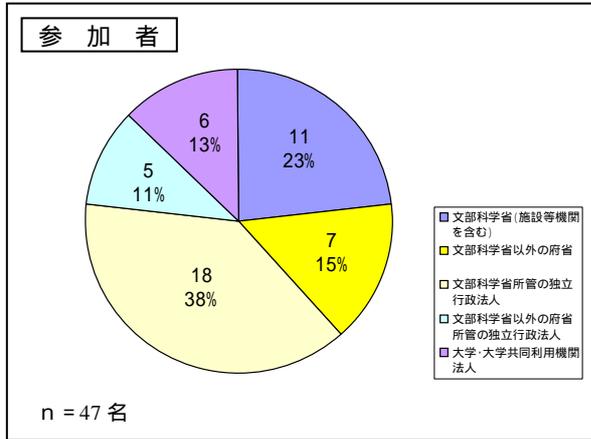
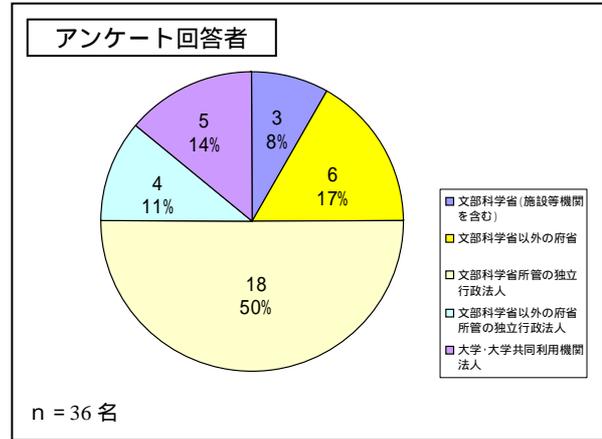


アンケート集計結果

1 参加者・アンケート回答者

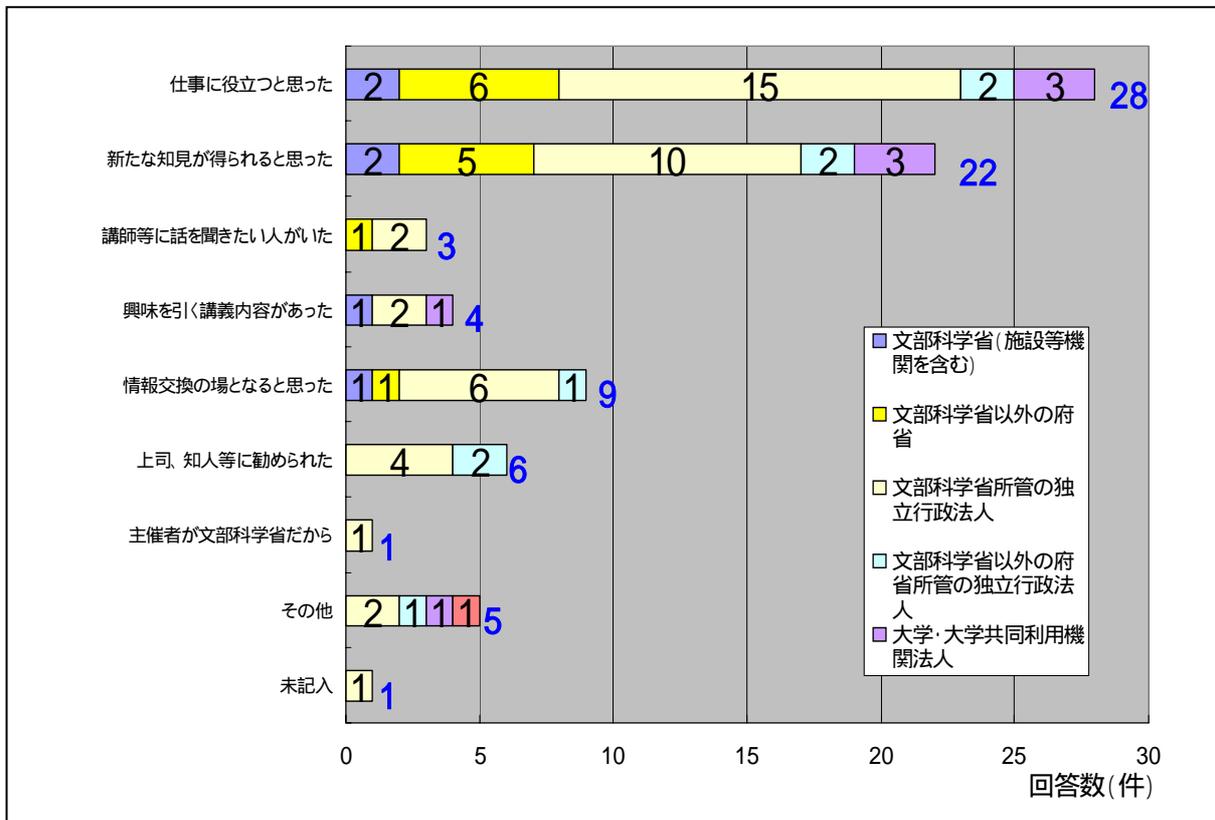


ファシリテーター、事例紹介者、事務局を含む

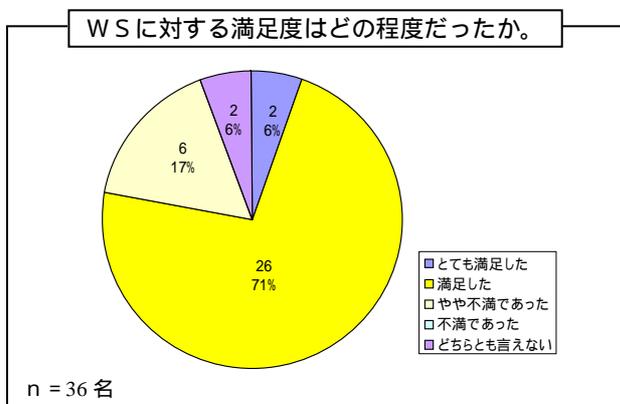
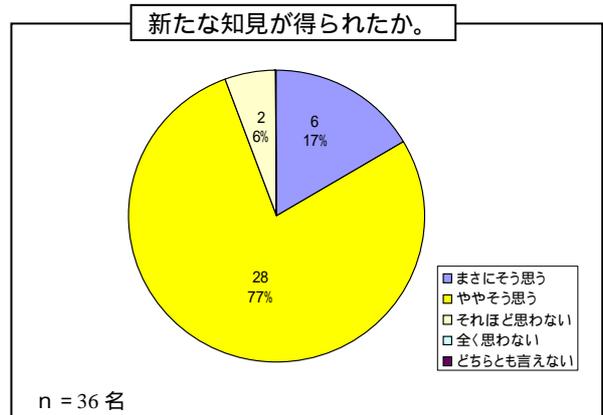
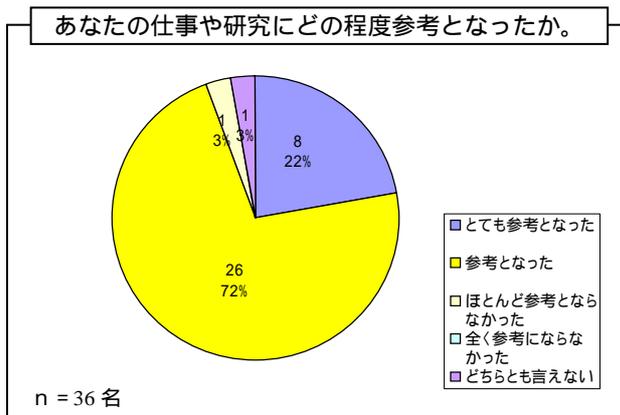


事務局を除く

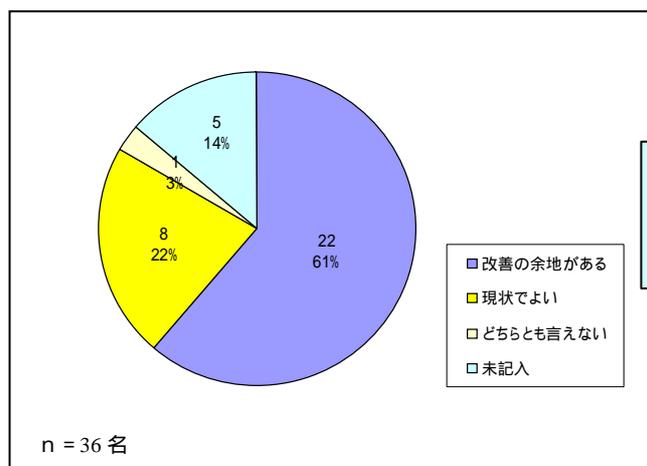
2 参加の動機



3 ワークショップに参加した感想（満足度等）

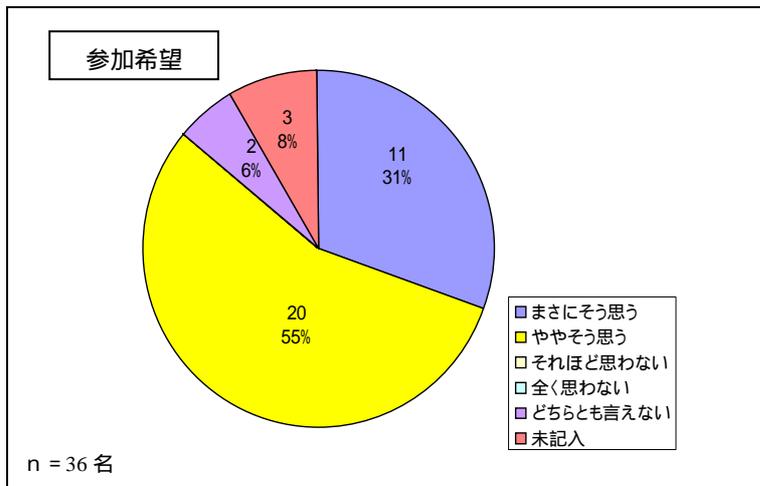


4 グループ討議・全体討議の実施方法



- 【主な意見】**
- ・ 討議時間が、もう少し長いほうがよい
 - ・ 問題設定(課題設定)をもっと具体的にして、焦点を絞った方がよい
 - ・ より一般的なテーマの方がよい
 - ・ テーマを事前に設定し、資料を持参することで、より具体的な効率的な討論が可能
 - ・ 講義、事例紹介、討議がうまく結びつかなかったのを結びつける工夫が必要

5 参加希望・希望のテーマ



希望のテーマ

【主な意見】

- ・日本の公的研究機関のノンアカデミック・キャリアパスについて
- ・基礎研究の評価のあり方、その後の活用の仕方
- ・中期目標期間と事前・中間・事後評価のタイミング
- ・アウトプット～ダイレクトアウトカムへのリンク 中期指標からブレイクダウンしたプロジェクト進行中に測定できる短指標の設定のあり方
- ・ロジックモデルや戦略マップ
- ・評価の問題点、評価疲れ
- ・評価の具体例(良い例、悪い例)

6 ワークショップ全般に関する意見・要望

【主な意見】

<実施場所>

- ・場所は便がよく快適なのでとてもよい

<時期・時間帯>

- ・今頃がよい。 ・時間は平日午後一番で適切
- ・ちょうど良いと思います。
- ・全体の時間がもう少し長いと良い。

<その他>

- ・各機関との情報交換の場になればより活用できる
- ・グループ編成はユニークであった。多様な参加者の議論が有効